



ご協力ありがとうございました～能登半島地震義援金～

代表委員さんの呼びかけではじまった能登半島地震の義援金募金。ご協力ありがとうございました。

地震から1月が経ちますが、たくさんの被災者が今なお避難所で生活していたり、断水が続いたりして復旧も進まない状況や学校も再開できず家族と離れて違う学校で学習を進めざるえないような状況が報道されています。同時に、日本はいつどこで地震が起こってもおかしくない国であることをあらためて感じました。

そのような中、自分たちにできることはないかと、子どもたちから声があがり、全校に募金を呼びかけようとしたことはとても素晴らしいことだと思います。義援金は全校で119,143円集まりました。これは上毛新聞社日本赤十字社を通して役立てていただくようにします。



心をひとつに(協力と挑戦) ～ 長縄チャレンジ ～

毎週水曜日に行っている体育集会は、時期によって取り組むことを変えています。サーキットトレーニング、ラジオ体操、運動会の練習、持久走、縄跳びなど、これまでもいろいろなことにチャレンジしてきました。今は長縄チャレンジを行っています。今年度は運動会でたてわり縄跳びを行っていたので、1年生も初めてではありません。長縄チャレンジには2つの目標があります。1つは、クラスで仲良く跳ぶこと。もう1つは、5分間で何回跳べるかの記録を伸ばすことです。長縄は苦手な人もいますが、タイミングさえつかめば誰でも跳ぶことができます。でも、失敗してしまった人を責めてしまうような雰囲気があると、萎縮してしまい余計に跳びにくくなってしまいます。クラスで仲良く失敗しても大丈夫という雰囲気を作ることで記録も伸びていきます。2つの目標に向けてがんばっていきましょう。



□いっぱい収穫の喜び～3年生おにぎりパーティー～

5月の杣まきから始まった3年生の米作り。給食センターの栄養士さんや保護者の方に協力していただき、米作りでお世話になった羽鳥さんを招いて、秋に収穫したお米をおにぎりにして食べました。塩をふったり、給食で出たおかずを具にしたりしながら、おいしく食べました。自分たちで育てたお米は格別だと思います。全ての過程を自分たちで行ったわけではありませんが、当たり前のように食べているお米も、手間をかけ半年以上もかけて育てていることは気付けたと思います。



家庭学習のすすめ

家庭学習は、授業の内容を定着させたり、前もって準備しておくことで授業での理解を深めたりする役割があります。また、授業の内容をより広げたり、苦手なところを補ったりする役割もあります。しかし、発達段階でその役割は異なり、取り組み方も違ってきます。特に、自分で学習の内容を考える「自主学习」については、だんだんと積み上げていって、最終的には中学校へつなげられたらよいと考えています。個人によっても違いますが、おおむね次のように行っていきたいと学校全体で確認しています。

学年	段階	自主学の頻度
低学年	家庭で学習する習慣を身に付ける 出された宿題にしっかり取り組めるようにする	
中学年	いくつかの選択肢や例示の中から自分で選び自主学习に取り組めるようにする 自主学习のやり方を知る バリエーションを増やしていく	週1回以上
高学年	自分のめあてを考えて自主学习に取り組めるようにする めあてを意識して取り組む (例 苦手の克服 興味あることを深く学ぶ…) やり方を工夫し、楽しんで自主学习に取り組む	週2回以上

3年生の廊下には、6年生の自主学习ノートのコピーが掲示されています。それらをお手本にして、やってみましょうと呼びかけています。学年があがるにつれて、自分で学習をコントロールする力が必要になってきます。(〇〇が苦手だから、□□の学習をしよう。〇〇に興味をもったから□□をもっと調べてみよう。授業でやったことを家でも実践してみよう。……)



やらされる家庭学習から自分で考えて高めていける家庭学習へ、6年間をかけて積み上げていけるようにしていきたいと考えています。

教室のバリエーション

教室では机が6列並び、黒板に向かって垂直になっていて、1列目と2列目、3列目と4列目、5列目と6列目がペアになっているのが一般的です。そして授業もそのまま行うことが多いです。中には、少しアレンジし、机を黒板の中心に向け、放射状に机を並べて授業している教室もあります。また、グループで話し合いをする時には4人で机を寄せ合ったり、2つの意見に分かれて話し合いをする時は机を真ん中に向け向かい合ったりすることもあります。実験や作業の多い理科



室や図工室などはグループで座るようになっているし、音楽室には机がなくイスだけです。英語ルームでは、いつもグループで座って授業をする試み(アイランド型)も始めています。いずれにしても子どもたちが授業に集中でき、学習活動が充実するために、いろいろなバリエーションを試していきます。

日々の学校の様子をお知らせしています。是非ご覧下さい。

QRコード



<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>